



会長 古賀 健一郎
副会長 古田 和彦
書記 古賀 健一郎
会計 大高 治
直前会長 古田 和彦

国際会長 (IP) Kim Sang-chaе (Korea)

“Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長 (AP) 大野 勉 (神戸ポート)

“Make a difference beyond the 100th”

「100年を越えて変革しよう」

東日本区理事 (RD) 大久保 知宏 (宇都宮)

「私たちは次の世代のために何ができるか？」

“Think for the next generation”

湘南・沖縄部部長 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「咲かそう 人の輪〜明るく・楽しく・元気よく〜」

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「今こそ『すべての人を一つにして下さい』(ヨハネ17章)を覚え、平和への行動を！」

“Now, keeping 『All be one with each other』 (John 17), Act for peace!”

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 青木 英幸

<今月の聖句>

佐竹 博

恵みの業をもたらす種をまけ
愛の実りを刈り入れよ。
新しい土地を耕せ。

(ホセア書 10章 12節)

今月のひとこと

『すべての人を一つにして下さい』

古賀 健一郎



今年度の横浜クラブ主題は、『今こそ、「すべての人を一つにして下さい」(ヨハネ17章)を覚え、平和への行動を!』とした。これはワイズの国際聖句でもあり、YMCA 正章の真ん中にも「JOHN17:21」と記されている。昨年

クラブ創立 90 周年を迎えた私共クラブの今後の進む道への想いを、改めてこの主題に込めてみた。コロナ禍の厳しい現実において、不一致、分断や分裂を私たちはさまざまに経験し、今こそ皆でこの主題に立ち戻りたいと思う。

最近、部の有志で立ち上げた『絵本の読み聞かせ準備会』で、たまたま紹介された絵本『おおきなかぶ』(ロシア民話、福音館書店)は、クラブ主題のイメージと偶然にも重なって

いると感じた。畑に出来た大きなかぶをみんなで引き抜く話。おじいさんは、「うんとこしょどっこいしょ」とかけ声をかけてかぶを抜こうとするが、かぶは抜けない。おじいさんはおばあさんと呼んできて一緒にかぶを抜こうとするが、かぶは抜けない。おばあさんは孫を呼び、孫は犬を呼び、犬は猫を呼んでくるが、それでもかぶは抜けない。とうとう猫はねずみを呼んでくるが……。人気の名作であり、あきらめないで皆が心ひとつに協力する姿が見事に描かれている。



お話はシンプル。立ちほだかる課題に対し、皆が力を合わせて立ち向かうというもの。この絵本に心惹かれるのは、助力を求める相手が段々、小振りになっていくところ。じいさん、ばあさん、孫ときて、最終的にねずみが参加する。これが、もし巨人とか牛馬とかが参加すれば問題は一発で解決するわけだが、小さな力を結集して大きな事を成し遂げる。“全ての存在が必要だったのだ。”

キリスト教精神の『愛と奉仕』の生き方を学びつつ、すべての人々と『すべての“いのち”はかけがえのないものである』ことを共有したい。YMCA と共に地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

2021 年度の具体的な取り組みとしては、横浜クラブの限られた会員数の現状を踏まえ、その奉仕の領域も“自分たちの身の丈に合った”活動を考えた。横浜クラブの国際交流の視

<2021年6月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
12名	メン 10名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 0名 ゲスト 0名 合計 0名	0% (メーキャップ 名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円	

<7月の行事予定>

EMC/E YES

日	曜	時間	行事内容	場所
8	木	18:30	横浜クラブ総会	Zoom
22	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom
31	土	15:00	第一部評議会	Zoom

野に立った歴史と、クラブが横浜 YMCA と企画した『日本語スピーチコンテスト』の実績を踏まえながら、横浜 YMCA 専門学校で学ぶ外国人留学生が新型コロナウイルスの影響を受け、学費、生活などの困窮による不安にある現状を、まずは心に留めたい。外国人留学生との“豊かな交わり”と同時に、彼らに対する“あらゆる可能な支援”を実行していきたい。

大事な課題が困難ではあっても、皆で解決に向かって知恵を絞り、一緒に祈り、一緒に取り組もうとする姿勢をもって、“思いを一つ”にしたい。そして私たち一人一人が前向きに変わっていききたい。私たちの『ワイズ・YMCA のつながり』の豊かさの中で、私たちの働きは微力なものであっても、『皆が一つになって、助け合って生きる』ことを積み重ねていくうちに、必ずや『平和な世界の実現』へとつながっていきと確信する。

「6月第一例会報告」

古賀健一郎

日時：6月10日(木) 18:30~20:15

開催方法：Zoom 例会

出席者：青木、秋元、伊藤、大高、古賀、齋藤、佐竹、田口、古田、松島

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今回も『Zoom 例会』とした。例会は、大高ワイズの司会により定刻に開始。会長の開会点鐘、挨拶。ワイズソング、ワイズの信条の唱和。

6月の聖句は『光は暗闇の中で輝いている』(ヨハネによる福音書1章5節)。田口ワイズが聖句を朗読し所感を述べた。田口ワイズは日本 YMCA 同盟の総主事でもあり、日本 YMCA 中期計画にも触れられており、今後のクラブ運営にも良き参考になったので、所感内容の詳細を下記に記す。

本聖句は、日本 YMCA 中期計画(案)(2021年から2023年)の主題聖句でもある。コロナ禍にあっても、神様から委ねられた使命は、今こそ輝いている時であり、この時こそ、その使命を果たすことである。YMCA の『Young Men's Christian Association』の“Associate”には“結合する、共同

体”との意味があり、“人と人を結びつける”使命がある。私たちが物理的に離れていても、“主イエス・キリストにつながっている”と同時に、“人びととつながっていく”ことでもある。この“つながりの絆”を広げていって、より良い豊かな社会を創っていく、つまり、『ポジティブネットのある豊かな社会を創造する』……。中期ビジョンとして、日本 YMCA の運動体、方向性を示すことで、それぞれの YMCA の地域の状況に合わせて、この使命をどのように果たしていくかを考える聖句でもある。暗闇の中でなくても光は輝いているが、暗闇の中で、一層私たちに輝いて見えるのではないか。

本当の『ポジティブネット』を見るには、写真には“ネガフィルム”があるように、ネガが“光と陰の部分”をしっかり捉えてないと、“ポジティブな写真(真実の写真)は描けない”を心に留めたい。そういう意味では、『ポジティブネットを創造する』というのは、“ネガティブな課題”をしっかり見つめることによって実行されていく。コロナ禍でさまざまな課題が浮き彫りになったが、そこにさまざまな取り組みをして、人びとに寄り添って人びとが離れず、つながりを深めていくことが問われている。

最近のいろいろなワイズの活動報告を伺っていると、YMCA サービスや奉仕活動は、当初はこのコロナ禍にあっては非常に難しいと想像していたが、実際は、むしろいろいろなアイデアをもって(“つながりマスク”もその一例)、「今までにない知恵と経験が積まれて新しい奉仕活動ができた」という報告が、むしろ例年より多く届いている。これは、暗闇の中でむしろ光が輝いていることに気づき、その使命に基づいた行動だと感じた。最後に、「地域社会の隣人の為に、ワイズの皆様の励ましと奉仕活動は大きな勇気を与えている」との感謝の祈りを捧げたい。

=====
ビジネスに入る。

まず、次年度も会長を務める古賀から、クラブ運営方針が示された。(7月号ブリテンの『今月のひとこと』を参照)。定期総会資料を取り纏められている伊藤ワイズより、『定期総会は去年の7月から今年の6月までの1年間、“どのような活動をしてきたのか”、“どのような問題を抱えているのか”ということを先ず評価して、来月(7月)から始まる“新年度の活動をどのような方針で行うのか”を決める、年1回の総会である。その為にできるだけ事実に基づいて客観的に評価できるように、総会資料は同じフォーマットで作成している。古田、古賀、大高、伊藤の4人で分担してドラフトを作成する』との総会指針に従って、総会の為の諸資料の準備状況が確認され、第2例会には内容をチェックできるようそれぞれ準備することとした。

最後に、松島ワイズのハッピーバースデーを祝って、定刻に閉会した。

「第4回部評議会報告」

伊藤 誠彦

日時：2021年6月19日 15:00~17:10

会議方法：Zoom による開催

出席者：部評議会構成員28名(内、委任状9名)

内、横浜：伊藤、大高(委任状)、古賀、古田

第4回評議会は、定刻に開始。古田部長による開会点鐘、ワイズソングは割愛し、ワイズの信条を全員で唱和。阿部部担当主事による聖書朗読と開会祈祷。古田部長挨拶に続いて伊藤誠彦部書記により定足数の確認を経て議事に入った。

今回の評議会の主な議案は沖縄那覇クラブの解散の件。古田部長より沖縄那覇クラブが解散の提案に至るまでの経緯の説明があった。その後、沖縄那覇クラブ玉城哲人会長及び長嶺将邦ワイズより解散を決意するに至った理由及び現状と今後の思惑について説明があった。出席者からは、事情を理解して、残念だが解散も止むを得ないとする意見、何とかもう一度考え直し、解散を回避することはできないのか、という意見が百出した。

結局、表決の結果、沖縄那覇クラブの解散に同意15票、反対12票で解散を承認することになった。

この他、若木次期部長(横浜つづき)より次年度部長方針と行事計画、伊藤康一部会計より中間決算報告などがあり、最後に峯尾部監事より、コロナ禍にあっても部の活動を完遂した古田部長をはじめとする部役員の方々へのねぎらいの言葉があった。そして、今年度の大きな成果としては、部則の改訂が実現したこと、残念で寂しかったことは沖縄クラブと沖縄那覇クラブが解散することである、と指摘された。

定刻をやや過ぎて閉会した。

第4回部評議会の詳細は別途作成されている部評議会議事録を参照ください。

「第90回YMCA-Y's 協議会報告」

古田 和彦

第89回を昨年12月に開催し、次は3月の予定だったがコロナ禍により中止としたため、6月1日(火)19:00~20:20、第90回Y-Y's協議会が行われた。ワイズメンは自宅からZoomによる参加での開催となった。今回の担当は横浜つるみワイズメンズクラブで、礼拝は島田徹担当主事が行い、続いて、同クラブの久保勝昭会長の司会で進化した。

まず、佐竹横浜YMCA総主事から挨拶。この一年、ワイズメンズクラブがYMCAと共に歩んでくださり多くの励ましをいただいた。苦しい中にも共に歩んでくれる方がいることに希望を見出すことができ、スタッフにとっても心強かったと感謝が述べられた。さらに、チャリティーランやバザー、国際地域協力募金、留学生へのマスク提供など個別事業へのワイズ支援への感謝の言葉があった。また、これからはコロナ前の状況に100%戻ることはなく、従来とは異なったワイズとYMCAとの関係構築(新たな支援方法の模索)が求められる旨話された。

次いで協議に入った。1. YVLF(ユースヴォランティアリーダーズフォーラム、ワイズメンズクラブ東日本区の資金提供)が横浜YMCAの担当で、9/10~12日富士山YMCAを会場として行われる予定。但し、宿泊開催には懸念が出ており、Web開催となることも視野に入れて準備中。ワイズメンズクラブへの相談は例会やメールにて行われることになる。

2. ワイズへの活動参画の依頼。ワイズとの共同例として、鎌倉・とつかの「ワイズ協賛サッカー大会」、厚木・オベリン保育園の「フードドライブ活動」(余っている食品をYMCAに持ち寄り、必要な方に渡す活動)、金沢八景の「芸能祭り(落

語)」、横浜北のYou & Iコンサートやバザー活動が紹介され、同様の活動をそれぞれのワイズメンズクラブとYMCAで検討していくことが求められている。3. 東日本区から絵本の贈呈を横浜YMCAの6ランチへ頂いた。4. 6/12開催の東日本区大会がWeb開催となるので自宅やYMCAから自由に参加できる。URLは後日配信されるのでYMCAスタッフにも周知することとした。ついで、YMCAから、本年度のチャリティーランを11/16臨港パークで予定していること、留学生による日本語スピーチコンテストが9/1Webで開催する予定である旨の報告を受けた。その後、各ワイズメンズクラブから簡単な報告。次回91回は9/7(火)19:00~20:30横浜ワイズの担当で開催することとし、散会した。

横浜クラブの参加者：青木、佐竹、古田

「第24回東日本区大会報告」

古田 和彦

例年1泊2日で行われている東日本区大会であるが、昨年は新型コロナ感染の拡大防止のため、やむなく中止となったが、今年はこの1年の経験を活かし、一部の中心となる方々は甲府に集合、その他の方々はオンライン(Zoom)で参加、時間も大幅に短縮し3時間で行うという、初めての方式による開催となった。

6/12(土)13:00、東日本区理事などは甲府湯村温泉郷「常盤ホテル」にて、その他の方々はZoomにより自宅等で参加。本大会のホストクラブは甲府21クラブで、総合司会は同クラブの米長晴信さん。

第1部開会式。定刻、板村哲也理事の開会点鐘で開会。ワイズソング、ワイズの信条を全員で唱和し、駒田勝彦元理事による聖書朗読と祈祷、輿水順雄甲府21クラブ会長歓迎のあいさつが行われた。次いで、田口日本YMCA総主事、Davidアジア・太平洋地域会長、西日本区古田理事、樋口甲府市長の来賓祝辞はいずれもリモートでとなった。メモリアルアワーではこの1年以内に召された方々を偲んだが、その中に当クラブ金子功さんが紹介された。

次いで東日本区アワー。理事報告、7つの部の部長報告、代議員会で承認された東日本区の法人化と一般社団法人定款の報告、各事業主任報告がなされ、そのなかで各種表彰が発表された。当クラブは、各献金の達成賞と献金事業8種すべての目標を達成して全献金達成クラブとなった。また、会員獲得努力賞(2名の新会員)、ロースター広告協力賞、PWALP協力賞を受賞した。

東日本区アワーの後半では、理事就任式・引継式が行われ、板村哲也現理事から大久保知宏新理事(宇都宮クラブ)に理事バッジ、メダリオンが引き継がれた。新理事からは所信が表明され、新役員が紹介された。その後閉会式を行い、定刻を少し上回り、16:35過ぎに終了した。

一部音声が乱れたり、画面の切り替えに時間を要することもあったが、無事、区大会を実施できたことは喜ばしく大いに励まされた。全体の参加者数は現状わからないが、オンラインでの開催は遠くの方(外国も含む)やスタッフも参加できるメリットがあり、コロナが収束しても併用できる有効な手段であることが証明された。

横浜クラブの参加者：齋藤、佐竹、田口、古田

「第4回東日本区役員会報告」

古田 和彦

第4回東日本区役員会は6月11日(金)19:00~21:00までZoom会議で行われた。

主な点は次の通り。

- ・第2号議案 次年度の次次期理事、次期監事候補者指名の件 指名委員会委員長、直前理事の山田敏明ワイズから提案あり。次年度の次次期理事(2023-24年度理事)山田公平ワイズ(宇都宮)、監事(2021-23年度)田中博之ワイズ(東京多摩みなみ)、提案は承認され、6月12日開催の代議員会に提案されることとなった。なお、代議員会で提案通り承認された。
- ・第3号議案 ②2021-2022年度予算について 次期理事の大久保知宏ワイズから提案され、前議案同様、承認された。また、代議員会でも承認された。
主な点①収入:YVLF負担金は徴収しない。(各クラブ2万円)
②支出:東日本区ウェブサイト更新費 2,500,000円
- ・第4号議案 沖縄クラブ解散の件 湘南・沖縄部長の古田和彦から提案。沖縄クラブの届けに基づき、6月25日付で解散。提案どおり承認された。
- ・その他、前回議事録の承認、東日本区定款施行細則第14条改定(別に定める事項の確認と対応)、臨時代議員会実施の件が提案され提案通り承認された。

第二例会報告

伊藤 誠彦

日時:6月24日(木)17:00~18:40

開催方法:Zoomによる開催

出席者:青木、伊藤、大高、古賀、古田

1. 行事予定

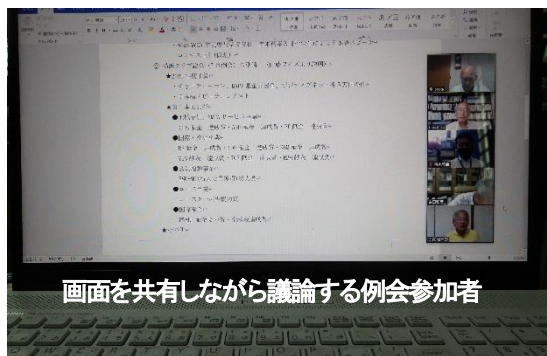
資料により7月~8月の予定が示され、確認した。

8月例会は、第2木曜日の12日は中央Yが休館日であるため、8月26日に開催。卓話は青木ワイズ(横浜YMCA学院専門学校校長)による「留学生による日本語スピーチコンテスト(仮題)」

2. 協議・確認事項

7月の総会に備え、各担当者が準備した総会用資料を青木ワイズの計らいで画面を共有しながら資料毎にレビュー、各自の意見をリアルタイムで画面に反映しながら会議は進められた。

第二例会にてまとめられた総会資料を基に、7月8日総会において全員で議論される。



画面を共有しながら議論する例会参加者



担当主事 青木 英幸

横浜YMCAでは毎年夏季プログラムが実施される7月の第1週を安全週間とし、スタッフ向けに研修を実施しています。1日目に全体研修として「過去事例から気象災害に備える」をテーマに日本気象予報士会神奈川支部所属気象予報士、防災士の前田光枝様を招き、集中豪雨や台風といった自然災害の過去事例から災害に備え、いのちを守ることにオンライン研修として学ぶ時間をもちました。

YMCAではいのちの大切さ、尊さを伝え、子どもたちが水の事故から自分のいのちを守る方法を学び、家族、友人、地域の方など身の回りの人のいのちを守る方法を学ぶ「ウォーターセーフティーキャンペーン」を6月1日から9月30日まで行い、全てのYMCAプログラムの参加者に対して水の安全の啓発活動を実施します。

また、各YMCAでは近隣の小学校等に着衣泳指導や先生・保護者への救急法講習会などにも協力しています。コロナ禍のためオンラインや動画配信を用いて、いのちを守ることの学びを広める活動を継続しています。

7月例会プログラム

日時:7月8日(木)18:30~20:00

場所:Zoom開催

司会:伊藤ワイズ

- 1.開会点鐘及び挨拶 古賀会長
- 2.ワイズソング・ワイズの信条 全員
- 3.今月の聖句 佐竹ワイズ
- 4.総会 古賀会長
20-21年度事業結果報告
20-21会計報告
20-21年度クラブ役員等の確認
21-22年度クラブ運営方針と事業計画
21-22年度予算案
- 5.キックオフ例会 ビジネス・報告 . . . 古賀会長
- 6.Happy Birthday (該当なし)
- 7.閉会点鐘 古賀会長

例会報告:大高ワイズ

8月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
6-8	金	10:00	AIDS文化フォーラム in 横浜	Zoom
14	土		第29回アジア大会	Zoom
26	木	17:00	横浜クラブ第一例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木英幸にご連絡下さい。

メール aoki_hideyuki@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080